

9-3 地域未来学科

1 教育理念と人材育成の目的

地域未来学科では、歴史や文化をはじめとする多様な地域資源の価値について理解し、地域の課題を発見、解決できる力に加え、新たな価値を生み出す創造性とそれらを次の時代に継承するための教育学に関する専門的知識・技能をもって、持続可能な地域社会の実現を志す人材を養成する。

また、包摂的かつ持続可能な地域コミュニティの共創にむけて多様な主体と連携し、デジタル化・DX化等の時代の変化に対応しつつ、主体的に行動できる地域社会の中核的コーディネーターとして、地域の経営に資する人材や、地域の未来を担う人づくりに貢献できる人材を養成する。

2 3つのポリシー

(1) 学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

地域未来学科は、履修規程によって必要単位を取得し、必要な修業年限を満たしたうえで、次の能力を身につけていると認められた学生に「学士（地域未来学）」の学位を授与します。

- ・ 地域社会における教育の役割を理解し、教育学に関する専門的知識・技能を身につけ、生涯にわたり学び続ける素養を有している（知識・技能）。
- ・ 地域の歴史や文化、多様な資源の価値を深く理解し、新たな価値を創造することにより、持続可能な社会を実現し、次代へ発信・継承することができる（知識・技能）。
- ・ 地域社会の中核的コーディネーターとして、多様な主体とのつながりを生み出し、包摂的で持続可能な地域コミュニティを他者と共創できる（知識・技能）。
- ・ 幅広い視点から地域課題を発見し、課題解決に向けて主体的に行動でき、かつ、地域において協働できる人的資源の開発や組織体制の構築に貢献できる（思考・判断・表現）。
- ・ 地域社会のデジタル化等の変化に適応しながら、地域の特性を踏まえた教育の在り方について考究し、地域の未来を担う人づくりに貢献できる（思考・判断・表現）。
- ・ 地域社会における意欲的かつ主体性のある個人や企業の学習活動を引き出し、支援することで、生涯学習社会の実現に貢献できる（関心・意欲・態度）。

(2) 教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）

地域未来学科は、地域社会の発展および持続可能な社会の実現のために必要な専門知識・技術を培うため、教養科目、専門基礎科目、専門科目を体系的に配置した教育課程を編成します。

① 教育内容

(知識・技能)

- ・ 教育学および社会教育に関する専門的知識・技能の育成、および生涯にわたり学び続ける素養を育成するために「教育基礎」「生涯教育」「地域教育」の科目群および教養科目を配置する。
- ・ 地域の歴史や文化、資源の価値を深く理解し、地域資源を活用した新たな価値を創造することにより、持続可能な社会を実現するために必要となる企画力、実践力および発信力を育成するために「地域理解」「国際理解教育」「まちづくり・地域政策」「実務実践」の科目群を配置する。
- ・ 地域に関わる様々な領域の人々との関係性を構築し、多様な主体間の協働・物事の推進を支えるために必要となるコミュニケーション能力・協働力・調整力を育成するために「地域理解」「地域創造」「地域未来基礎」「地域未来演習」の科目群を配置する。

(思考・判断・表現)

- ・ 地域における諸課題を発見・分析できる能力、および課題解決に向けて主体的かつ積極的に行動してその成果を波及・発展させる能力を育成するために「地域創造」「地域未来演習」「地域未来探究」の科目群および「卒業研究」を配置する。
- ・ デジタル化された情報の収集・分析を通して、地域における教育の実情や議題を的確に把握するために必要となる情報収集・処理能力、および変化に対応するための柔軟な思考力と発信力を育成するために「自然と科学（教養科目）」「地域未来探究」の科目群および「卒業研究」を配置する。

(関心・意欲・態度)

- ・地域で活動する多様な主体による、自由で活発な学習活動と地域社会をつなぐためのファシリテート能力を育成するために「生涯教育」「地域教育」「地域創造」の科目群を配置する。

② 教育方法

- ・講義形式の授業の他に、学生の主体的な学びを引き出すために、少人数授業、学生参加型授業、ICTを活用した授業などのアクティブラーニングを実践する。
- ・問題発見とその解決および論理的思考力を養うために、課題について能動的に探索することを重視した教育を実施する。
- ・協働して課題を解決し物事を推進するために必要なコミュニケーション能力を高めるために、グループ学習を取り入れる。
- ・先進的な研究成果の理解力、仮説の検証を含めた探究力、論理的な問題解決能力を身につけるための科目は少人数ゼミ形式で研究の基礎を学ぶための教育を展開する。

③ 教育評価

- ・科目の特性に応じて、授業参加態度、小テスト、理解度確認テスト、レポート及び成果物の提出などシラバスに記載される到達目標の学修到達度を客観的に評価する。

(3) 学生の受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）

求める学生像

地域未来学科は、地域を発展させたいという目的意識があり、持続可能な未来社会の実現や地域社会の支援を意欲的に行う意思のある次のような人を受け入れます。

(知識・技能)

- ・基本的な知識・技能を習得するための学習習慣をもっている人。

(思考・判断・表現)

- ・社会で活躍するための基礎となる知識・技能を活用して課題を解決するために必要な論理的思考力・判断力・表現力をもっている人。

(関心・意欲・態度)

- ・地域の発展や持続可能な社会の実現に強い関心を持ち、何事にも積極的にチャレンジする意欲のある人。
- ・地域に関わる様々な領域の人々と協働して物事を推進したいと願う人、コミュニケーション能力を常に高めたいと考える人。
- ・目標の実現に向かって努力を続ける学習意欲をもっている人。
- ・人々の生活に幅広く目を向けバランス感覚に優れた人格でありたいと願う人。

3 教育課程の構成と概要

上述の目的を達成するために地域未来学科の教育課程は、①教養科目、②専門基礎科目、③専門科目、④専門関連科目、⑤演習科目及び卒業研究から構成されている。

① 教養科目

教養科目は、人間科学部、国際学部、医療保健科学部を有する総合大学の特性を活かし、「心理学概論」「食生活論」「現代医療と福祉・介護」「英語」「韓国語」等が配置され、学際的で教養豊かな人間性を養うことを目指す。「総合教養講座」は、本学の建学の精神、不確実な時代を生きるための本質的な物の見方、捉え方について学ぶと共に、SDGsの本質を理解し、地域創生の視点で行動できる、グローバルな思想を兼ね備えた人材を育成するための科目として位置付けている。また、ICTの進歩に伴い現代社会で求められているデータサイエンスやAIの利活用について理解を深めるための「数理・データサイエンス・AI入門」をはじめ、より分析的な「数理・データサイエンス・AI実践」を設けている。

② 専門基礎科目

専門基礎科目は、〈教育基礎〉〈地域理解〉の2つの科目群から構成されている。〈教育基礎〉科目群では、「教育学概論Ⅰ・Ⅱ」「生涯学習概論Ⅰ・Ⅱ」を1年次に配置し、教育学及び社会教育、生涯学習に関する基礎的な知識・技能を身に付け、現代社会における教育の役割についての理解を深める。「アカデミックライティング」では、学術的な文章を書くために必要な技能の習得を目指す。また、〈地域理解〉科目群には、「地

域未来概論（地域の未来を語る）」「世界と北海道」を配置し、地域の歴史や文化、資源の価値に対する理解を深めると共にまちづくりのマネジメント手法等の基礎を学ぶ。

③ 専門科目

専門科目は、「専門基礎科目」における学びをより具現化かつ実践的なものにするため、〈生涯教育〉〈地域教育〉〈地域創造〉の3つの科目群から構成される。〈生涯教育〉科目群では、「生涯学習支援論」や「社会教育経営論」により、生涯学習社会の実現のために実際に地域で取り組んでいる事例等に触れながら、実践するための知識・技能を学ぶ。〈地域教育〉科目群では、「こども家庭支援論」や「こども家庭支援の心理学」といった、地域社会のより具体的な課題をテーマにした科目を配置し、教育学の基礎的な知識・技能を、地域社会の課題解決に活かすための実践的な在り方を検討する。〈地域創造〉科目群では、〈地域理解〉科目群において習得した、地域の歴史や文化、資源の価値に対する理解を基盤に、「地域イノベーション論」や「地域創生の実践と経営」等の履修により、地域における諸課題を発見・分析できる能力や課題に対して主体的に行動し、地域において新たな価値を創造する能力を習得する。

④ 専門関連科目

専門関連科目は、〈国際理解教育〉〈まちづくり・地域政策〉〈実務実践〉の3つの科目群から構成されている。グローバル化の進展やテクノロジーの進化など、予測不可能な時代を迎える中で、社会の変化に対応しながら、地域における諸課題を正しく理解・解決するために、地域社会に関連した幅広い科目を配置している。

⑤ 演習科目及び卒業研究

演習科目は、〈地域未来基礎〉〈地域未来演習〉〈地域未来探究〉の3つの科目群から構成されている。実践活動を軸に、地域を理解する・解決する・探究するという順序性をもった配置となっている。1年次の「地域未来基礎」科目群では、北海道内を探索することで地域を知り、北海道の特性など、地域の全体像をつかむ。2～3年次の「地域未来演習」科目群では、地域特性を把握し、地域課題の発見、解決策の立案、検討を行う。4年次の「地域未来探究」科目群では、学び得た知識や経験、自身の関心に沿って、地域の未来をデザインする研究に挑戦する。その成果は、「卒業研究」としてまとめる。

4 履修の方法

① 卒業要件

地域未来学科を卒業するためには、必修科目48単位（教養科目8単位、専門基礎科目14単位、専門科目10単位、演習科目12単位、卒業研究4単位）を含む合計124単位以上を修得しなければならない。

	教養科目	専門基礎科目	専門科目	専門関連科目	演習科目	卒業研究
必修科目（48単位）	8単位	14単位	10単位	—	12単位	4単位
選択科目	76単位以上					
卒業に必要な単位数	124単位以上					

② 進級要件

1・2年次の必修科目等、基礎的学習事項の定着を図り、卒業までの発展・応用への自立的な学びを身につけてもらうことを目的として、進級要件を設けている。

1) 2年生から3年生への進級

原則として、1・2年次の必修科目34単位のうち24単位以上、1・2年次の選択科目75単位のうち38単位以上修得することを3年生進級の要件とする。

必修・選択区分	3年次進級要件
必修科目	24単位
選択科目	38単位

③ 履修にかかわる留意事項

以下の「北海道文教大学履修規程」（抜粋）に留意し、履修すること。

(授業科目の履修)

第4条 学生は、当該年度各学期始めの所定の期間内に、その学期に履修しようとする科目について履修登録しなければならない。

- 2 履修は、開設する年度の履修配当年次及び学期によるものとし、上位年次及び学期に配当された科目の履修は原則として認められない。
- 3 各年次における履修登録単位数の上限は、国家資格等関係科目、教職科目を除き44単位以内とし、各学期26単位以内とする。
- 4 既に単位を修得した科目は、再度履修することができない。
- 5 履修登録科目について履修を取り止める場合は、所定の期間内に履修取消の手続きを行わなければならない。

(履修科目の出席)

第5条 当該履修科目における出席回数が各学期の授業回数の3分の2に達しない場合は、原則として単位の修得ができない。

- 2 遅刻又は早退は、3回で1回の欠席とする。

5 演習科目（ゼミ）について

① 地域未来基礎科目群（1年次）

本学が本拠とする恵庭市を中心に、地域そのものを広く知ることにより重きをおいた学びを展開する。1年間を通して地域について学ぶと同時に、発見した地域課題とそれらの解決にむけて必要と考えられる地域資源について理解するとともに、活用のアプローチを探るフェーズとする。

② 地域未来演習科目群（2年次後期～3年次）

2年次前期までに受講した講義や地域未来基礎科目群において得た知識や経験を踏まえ、道内外の地域を対象に関心を深めたい分野を見つけ、地域課題の実際に迫り、各教員とのコミュニケーションや指導を通して課題解決にむけた方策の立案や実施について挑戦する。自らの学びの集大成に向けた助走期間となるため、自己の将来像についてもイメージ形成を図るフェーズとする。

③ 地域未来探究科目群（4年次）

地域未来学科において3年間にわたって得た学びを総動員し、それぞれの関心分野を軸としてさらに研究を深め、地域の未来、あり方について創造、探究するフェーズとする。創造や探究を経て得た学びについては、最終的に卒業研究の形でまとめることとし、卒業研究の方法については別途通知する。

地域未来学科 開設科目一覧
教養科目

分野	科目	区分	単位数	配 及 び	年 次 期	卒業 必修
人間と文化	心理学概論	講	2	1	前	
	総合教養講座	講	2	1	前	必修
	文章表現	講	2	1	前	
	食生活論	講	2	1	後	
	生活と社会環境	講	2	1	後	
社会と制度	キャリア入門	講	1	1	前	必修
	現代医療と福祉・介護	講	2	1	前	
	日本国憲法	講	2	1	後	必修
	キャリア形成	講	1	2	後	
自然と科学	情報処理	講	2	1	前	
	生命科学	講	2	1	前	
	数理・データサイエンス・AI入門	講	1	1	後	必修
	数理・データサイエンス・AI実践	講	1	1	後	
	統計の基礎	講	2	1	後	
外国語	英語Ⅰ	演	1	1	前	必修
	英語Ⅱ	演	1	1	後	必修
	韓国語Ⅰ	演	1	1	前	
	韓国語Ⅱ	演	1	1	後	
スポーツと健康	生涯スポーツⅠ	演	1	1	前	
	生涯スポーツⅡ	演	1	1	後	
総合領域	グローバル・フィールド・スタディーズⅠ	演	1	—	—	
	グローバル・フィールド・スタディーズⅡ	演	1	—	—	
	グローバル・フィールド・スタディーズⅢ	演	2	—	—	
	グローバル・フィールド・スタディーズⅣ	演	2	—	—	

専門基礎科目

分野	科目	区分	単位数	配 及 び	年 次 期	卒業 必修
教育基礎	教育学概論Ⅰ	講	2	1	前	必修
	教育学概論Ⅱ	講	2	1	後	必修
	生涯学習概論Ⅰ	講	2	1	前	必修
	生涯学習概論Ⅱ	講	2	1	後	必修
	教育心理学Ⅰ	講	2	1	後	
	教育心理学Ⅱ	講	2	2	前	
	アカデミックライティング	講	2	2	前	必修
地域理解	地域未来概論（地域の未来を語る）	講	2	1	前	必修
	世界と北海道	講	2	1	前	
	日本政治経済論	講	2	1	後	
	自治体を知る	講	2	2	前	
	北海道の食文化	講	2	2	前	
	持続可能な地域社会と地域創生	講	2	2	後	必修
	北海道の社会と文化（多文化共生）	講	2	2	後	
	地域パートナーシップを知る	講	2	3	通	

専門科目

分野	科目	区分	単位数	配当 及び	年次 学期	卒業 必修
生涯教育	教育から考える地域と未来Ⅰ	講	2	1	前	必修
	教育から考える地域と未来Ⅱ	講	2	1	後	必修
	社会教育論	講	2	2	前	必修
	教育から考えるサステナビリティ	演	1	2	前	
	人口減少時代の地域と大学	講	2	2	前	
	教育から考える社会貢献	講	2	2	後	
	生涯学習支援論	講	2	3	前	
	社会教育経営論	講	2	3	前	
地域教育	コミュニティ教育論Ⅰ	講	2	1	前	
	コミュニティ教育論Ⅱ	講	2	1	後	
	こども家庭支援論	講	2	2	前	
	こども家庭支援の心理学	講	2	2	後	
	教育行政学	講	2	3	前	
地域創造	地域商業概論	講	2	2	前	
	人口減少時代の対話と合意形成	講	2	2	後	
	地域と文化	講	2	2	後	必修
	地域イノベーション論	講	2	3	前	必修
	地域創生の実践と経営	講	2	3	前	
	地域・防災まちづくり	講	2	3	前	
	地域とコミュニティ	講	2	3	後	
	地方自治論	講	2	4	前	

専門関連科目

分野	科目	区分	単位数	配当 及び	年次 学期	卒業 必修
国際理解教育	国際社会が抱える課題と対応	講	2	3	前	
	国際地域開発論	講	2	3	前	
まちづくり・地域政策	健康社会と福祉	講	2	1	前	
	まちづくり法規	講	2	1	後	
	公衆衛生学	講	2	2	前	
	都市計画学	講	2	2	前	
	社会福祉	講	2	2	前	
	景観デザイン論	講	2	2	後	
	統計と社会調査法	講	2	2	後	
	地域包括ケアシステムを考える	講	1	4	前	
実務実践	アントレプレナーシップ概論	講	2	2	前	
	公務員講座Ⅰ	講	2	2	後	
	公務員講座Ⅱ	講	2	2	後	
	日本語ビジネスライティング	講	2	2	後	
	ビジネス会計の基礎	講	2	3	前	

演習科目

分野	科目	区分	単位数	配当年次 及び学期		卒業 必修
地域未来基礎	地域を知る（地域未来創造入門）	演	1	1	前	必修
	地域未来創造基礎（Adventure）	演	1	1	後	必修
地域未来演習	地域未来創造演習Ⅰ（Beginning）	演	2	2	後	必修
	地域未来創造演習Ⅱ（Creative）	演	2	3	前	必修
	地域未来創造演習Ⅲ（Driven）	演	2	3	後	必修
地域未来探究	地域未来創造探究（Explore）	演	4	4	通	必修

卒業研究

分野	科目	区分	単位数	配当年次 及び学期		卒業 必修
卒業研究	卒業研究	演	4	4	後	必修